



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 佐渡汽船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土屋 亨 TEL 025-245-2311
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,773	△3.7	△961	—	△988	—	△998	—
28年12月期第1四半期	1,842	△2.4	△722	—	△758	—	△775	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △1,004百万円(—%) 28年12月期第1四半期 △783百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△70.49	—
28年12月期第1四半期	△54.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	16,094	1,573	6.9
28年12月期	15,858	2,580	13.3

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,117百万円 28年12月期 2,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 平成29年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	11,842	8.1	238	—	109	—	54	—	3.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	14,275,450株	28年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	112,338株	28年12月期	112,338株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	14,163,112株	28年12月期1Q	14,150,913株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の評価に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日本銀行による各種政策等の効果により、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の新政権の政策変更の動向による海外経済の不確実性の高まりや世界的な地政学リスクの高まりにより、国内景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社では安全運航の徹底、お客様の減少傾向を止める、貨物部門の効率化と赤字航路の見直しを重点課題として掲げ、積極的な営業展開を図りました。しかしながら、当第1四半期連結累計期間においては、旅客、航送、貨物の各部門とも低調に推移したことから、輸送実績は前年同期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,773,931千円(前年同期比3.7%減)、営業損失は961,511千円(前年同期は722,603千円の営業損失)、経常損失は988,821千円(前年同期は758,842千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は998,324千円(前年同期は775,114千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

①海運

当第1四半期連結累計期間の旅客輸送人員は211,770人(前年同期比3.1%減)、自動車航送台数は乗用車換算で34,837台(前年同期比2.9%減)、貨物輸送トン数は38,899トン(前年同期比0.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,144,810千円(前年同期比4.9%減)、セグメント損失(営業損失)は874,246千円(前年同期は657,062千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

②一般貨物自動車運送

当第1四半期連結累計期間の売上高は368,780千円(前年同期比5.0%減)、セグメント損失(営業損失)は3,209千円(前年同期は17,393千円のセグメント利益(営業利益))となりました。

③売店・飲食

当第1四半期連結累計期間の売上高は160,147千円(前年同期比2.8%増)、セグメント損失(営業損失)は29,078千円(前年同期は39,799千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

④観光

当第1四半期連結累計期間の売上高は54,944千円(前年同期比1.2%増)、セグメント損失(営業損失)は62,557千円(前年同期は50,633千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

⑤その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は45,250千円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益(営業利益)は103千円(前年同期は2,954千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ235,868千円増加し、16,094,790千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ188,049千円増加し4,063,129千円となりました。これは現金及び預金が184,986千円、その他が38,326千円増加したものの、受取手形及び売掛金が32,067千円減少したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ50,460千円増加し11,986,713千円となりました。これは減価償却による減少と建設仮勘定が131,481千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,242,524千円増加し14,520,927千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ540,963千円増加し4,081,158千円となりました。これは未払法人税等が22,461千円、その他が96,686千円減少したものの、支払手形及び買掛金が171,020千円、短期借入金が253,600千円、1年内返済予定の長期借入金が116,241千円、賞与引当金が119,249千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ701,561千円増加し10,439,769千円となりました。これは社債が210,020千円減少したものの、長期借入金が861,750千円、特別修繕引当金が46,699千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,006,656千円減少し1,573,863千円となりました。これは998,324千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月17日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,021	2,296,007
受取手形及び売掛金	748,619	716,552
たな卸資産	797,953	795,030
繰延税金資産	14,075	13,711
その他	207,733	246,059
貸倒引当金	△4,321	△4,230
流動資産合計	3,875,080	4,063,129
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,712,208	5,681,454
建物(純額)	2,814,824	2,771,395
土地	1,738,812	1,738,812
建設仮勘定	97,099	228,580
その他(純額)	824,712	819,340
有形固定資産合計	11,187,655	11,239,581
無形固定資産		
その他	177,514	175,413
無形固定資産合計	177,514	175,413
投資その他の資産		
投資有価証券	173,709	172,316
長期前払費用	302,653	303,688
繰延税金資産	38,249	38,249
その他	56,506	57,499
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	571,084	571,719
固定資産合計	11,936,253	11,986,713
繰延資産		
社債発行費	47,589	44,948
繰延資産合計	47,589	44,948
資産合計	15,858,922	16,094,790

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,608	625,628
短期借入金	157,400	411,000
1年内返済予定の長期借入金	1,681,268	1,797,509
1年内償還予定の社債	420,040	420,040
未払法人税等	40,384	17,923
賞与引当金	45,496	164,745
その他	740,999	644,313
流動負債合計	3,540,195	4,081,158
固定負債		
社債	1,819,140	1,609,120
長期借入金	6,711,144	7,572,894
役員退職慰労引当金	56,255	58,313
退職給付に係る負債	824,161	836,207
特別修繕引当金	105,836	152,535
資産除去債務	27,088	27,223
その他	194,584	183,477
固定負債合計	9,738,208	10,439,769
負債合計	13,278,403	14,520,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	651,203	651,203
利益剰余金	644,115	△354,209
自己株式	△46,432	△46,432
株主資本合計	2,092,021	1,093,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,969	23,965
その他の包括利益累計額合計	24,969	23,965
新株予約権	66,570	66,570
非支配株主持分	396,959	389,631
純資産合計	2,580,519	1,573,863
負債純資産合計	15,858,922	16,094,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,842,523	1,773,931
売上原価	2,319,809	2,495,065
売上総損失(△)	△477,286	△721,134
販売費及び一般管理費	245,317	240,377
営業損失(△)	△722,603	△961,511
営業外収益		
固定資産賃貸料	16,687	18,111
受取利息	158	42
受取配当金	431	465
その他	13,058	14,497
営業外収益合計	30,334	33,115
営業外費用		
支払利息	48,482	42,867
固定資産賃貸費用	11,476	9,911
その他	6,615	7,647
営業外費用合計	66,573	60,425
経常損失(△)	△758,842	△988,821
特別利益		
固定資産売却益	5,785	2,164
特別利益合計	5,785	2,164
特別損失		
固定資産売却損	564	—
固定資産除却損	5,378	1,919
特別損失合計	5,942	1,919
税金等調整前四半期純損失(△)	△758,999	△988,576
法人税、住民税及び事業税	22,464	16,466
法人税等調整額	△4,712	△1,726
法人税等合計	17,752	14,740
四半期純損失(△)	△776,751	△1,003,316
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,637	△4,992
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△775,114	△998,324

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△776,751	△1,003,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,399	△974
その他の包括利益合計	△6,399	△974
四半期包括利益	△783,150	△1,004,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△781,287	△999,328
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,863	△4,962

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を
当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,203,561	388,050	155,736	54,288	1,801,635	40,888	1,842,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	83,135	7,559	92,068	182,764	44,421	227,185
計	1,203,563	471,185	163,295	146,356	1,984,399	85,309	2,069,708
セグメント利益又は 損失(△)	△657,062	17,393	△39,799	△50,633	△730,101	△2,954	△733,055

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△730,101
「その他」の区分の損失	△2,954
セグメント間取引消去	10,452
四半期連結損益計算書の営業損失	△722,603

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,144,810	368,780	160,147	54,944	1,728,681	45,250	1,773,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	547	82,509	5,117	92,554	180,727	42,424	223,151
計	1,145,357	451,289	165,264	147,498	1,909,408	87,674	1,997,082
セグメント利益又は 損失(△)	△874,246	△3,209	△29,078	△62,557	△969,090	103	△968,987

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△969,090
「その他」の区分の損失	103
セグメント間取引消去	7,476
四半期連結損益計算書の営業損失	△961,511